



東小だより

学校教育目標 「心豊かに自立する子を育てる」

東小マナー ～え・ほ・し・い・わ～

6月号

令和5年5月31日

茅ヶ崎市立東海岸小学校

校長 柴田 貴行

●心の劇場の観劇（6年生）

心の劇場は、新型コロナウイルスの感染拡大以来、オンラインで該当学年が観劇するスタイルでしたが、今年から集合形式で6年生対象の心の劇場観劇が再開されました。5月9日（火）、茅ヶ崎市民文化会館で開催され、今年の演目は「ジョン万次郎の夢」でした。万次郎が江戸時代に漁の最中に遭難しアメリカ合衆国の捕鯨船に救助されてそのまま渡米し生活、その後帰国し日本とアメリカの懸け橋になるまでの話でした。場面によっては英語のせりふもありましたが、外国語で学習しているためか理解している児童が多かったようです。観劇中のマナー学習だけでなく、往復の集団行動も体験できました。

●ふくろう運動と「推進協」

「推進協」の皆様が主になって、4月からすでに4回にわたって、児童下校時の通学路に立って見守りや声かけを取り組んでいただいています。ありがとうございます。

「推進協」は小学校の学区ごとに設置される組織で、本校の場合は「東海岸小学校区青少年育成推進協議会」が正式な名称になります。その略称が「推進協」となっており、地域の子どもたちの健全な育成のために、自治会長さんや役員さんや民生委員・児童委員さん、青少年指導員さん、保護司さん、東小会、中学校の先生方等多くの方々からなる組織です。「夏まつり」や「お正月遊びの会」を開催していただいていることで「推進協」を知っている方もいらっしゃるかもしれません。

この方々が、ご自宅の近隣での登校見守りや、長期休み明け等効果のあるタイミングを考慮していただいて下校見守りをする「ふくろう運動」に取り組んでくださっています。

小学校にとって、安全な登下校は重要なことです。5月になり新しい学級の友達と仲良くなってくると、話に夢中になって2列ではなく3列・4列と横に並んでしまったり、前の人を追い抜こうと車道にでてしまおうとしたりするケースがあります。また、雨の日は前の方の傘で先が見通せないために、先の様子を見ようと横に（道路の中央方向に）出てしまう場合もみられます。

先日の強い雨の日に、学校の近隣を通った方から連絡を受けています。児童が安全に通えるようにとの視点からのお話でしたので、早速各学級で指導を行いました。安全な登下校の方法について知っているだけでなく、自分自身で守ることを続けていきましょう。東小会の皆様の登校指導・下校指導とあわせて多くの方々の目で、児童の安全を守る取り組みが続いています。

●開き読み・おはなし会がはじまりました。

連休明けより、水曜日の朝の開き読みと木曜日の図書室でのおはなし会が始まりました。開き読みはすでに全学級で行っていただきました。おはなし会は木曜日に2学級ずつとなっています。本年度もよろしく願いいたします。

●熱中症対策をお願いいたします。

気温が高くなってきました。学校では早速暑い日にはエアコンの使用を開始しています。運動時には水分補給を促しますが、登校前に水分を補給してから送り出させていただきますようお願いいたします。